

2019年度 第1回地域社会連携本部会議 議事要旨

開催日時：令和元年5月13日（月）10：00～11：03

開催場所：東京・世田谷キャンパス 教育研究棟2街区2503大会議室

出席者（敬称略）

須藤 剛志（世田谷区スポーツ推進部 スポーツ推進課長）
小野 道子（公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団 管理課長）
鈴木 康介（横浜市青葉区 総務部 区政推進課長）
守屋 喜代司（横浜市市民局 スポーツ振興部 スポーツ振興課長）
森田 尚隆（公益財団法人横浜市体育協会 地域スポーツ振興部長）
荻 浩三（社会貢献推進機構 教育開発担当）
白旗 和也（スポーツプロモーション・オフィス オフィスディレクター）

欠席

佐野 昌行（社会貢献推進機構 連携推進担当）
中里 浩一（社会貢献推進機構 研究開発担当）

事務局

石井 砂織（スポーツプロモーション・オフィス アシスタントオフィスディレクター）
塚田 直彦（スポーツプロモーション・オフィス 主任）
長坂 実早紀（スポーツプロモーション・オフィス オフィススタッフ）

開会に先立ち、白旗オフィスディレクターより挨拶があり、当会議開催の経緯説明がなされた後、構成員への謝辞が述べられた。

次いで、議事に先立ち、石井アシスタントオフィスディレクターより、当会議開催に関する謝意が述べられた後、出席者の紹介と会議資料の確認がなされた。なお、資料5-1及び5-2について、公開講座日程が一部変更となったことから差替がなされた。

また、「地域社会連携本部規則第4条」に基づく互選による議長選出については、満場一致で荻浩三教授（教育開発担当）に決定した。

1. 報告事項

（1）平成30年度事業報告（1月～12月）について

石井アシスタントオフィスディレクターより、配付資料（資料1）に基づき、次のとおり説明があった。

平成30年は、公開講座を2件（H29 7件）、スポーツ教室12件（H29 2件）、健康運動教室22件（H29 14件）、指導講習会を6件（H29 6件）、その他6件（H29 2件）を実施した。上記以外の事業は次のとおり実施した。

①体力測定（参加者数：1,150名）

両キャンパスにて実施し、東京・世田谷キャンパスでは、子どもを対象とした体力測定（270名）を初めて実施した。今年度も測定項目を精査し引き続き実施する方向で検討する。

②日体大スポーツフェスタ2018（参加者数：東京・世田谷キャンパス156名、横浜・健志台キャンパス149名）

これまで東京・世田谷キャンパスのみで実施していたが、例年好評であるため、初めて横浜・健志台キャンパスにおいても実施した。

③ボランティア活動

イベント等での演技披露や運営補助、学校等での学習支援、行事引率、体育スポーツ活動への支援等を中心に派遣した。

また、学友会や寮を中心とした地域の美化活動も年 13 回行った。

④防災訓練（210名）

横浜・健志台キャンパスでは宿泊型の防災訓練を実施した。また、世田谷地域では男子寮生が地域合同総合消防訓練に 3 回参加した。

<意見等>

・昨年 12 月に開催した「青葉 6 大学連携講座」において、黄准教授に講演して頂いた。今年度も同企画について、引き続き協力を願う。（青葉区）

（2）平成 30 年自己点検・評価報告及び外部評価委員会報告について

萩議長から、配付資料（資料 2、資料 3-1、3-2、3-3、3-4）に基づき、次のとおり説明があった。

自己点検・評価報告は、平成 30 年事業報告書をもとに、社会貢献活動の点検・評価を行い、報告書をまとめ、当機構の運営戦略会議及び評価チームによって確認された内容である。

外部評価委員会報告は、自己点検・評価報告書をもとに、教育活動、研究活動、地域活動、社会貢献推進事業の 4 つの外部評価委員会によって確認された報告書である。

<意見等>

・世田谷区では、障害者スポーツの機会を推進しており、現在「障害のある人もない人も共に楽しめるスポーツ・レクリエーション交流活動に関する交流事業及び研修事業」を日体大に委託している。委託事業が終了した後も障害者スポーツを継続的に推進できるよう協力を願う。（世田谷区）

（3）その他

①日本体育大学社会貢献推進機構規程の一部改正について

石井アシスタントオフィスマネージャーより、規程の改正について配付資料（参考資料 3、4）に基づき、次のとおり説明があった

日本体育大学社会貢献推進機構は、設置から 5 年が経過した。この機に業務の見直しを行い、現状に合わせた規模で、計画から実施までを迅速に展開できるよう、会議体の統合及び構成員の整理を行い、効果的な意見集約と反映、業務の効率化を図った。同時に、自己点検・評価及び外部評価にかかる行程や業務についても同様に見直しを行った。

2. 審議事項

（1）2019 年度事業方針及び事業計画について

萩議長から、2019 年度事業方針及び事業計画について、配付資料（資料 4）に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、構成員より、現状抱えている地域の課題（地域住民向け講座、研究・調査等）について次のとおり発言があった。

- ・障害者スポーツを推進しているが、障害のある方にスポーツ施設等まで足を運んでもらうためには、交通面等の整備が必要である。（世田谷区）
- ・普段触れることの少ないスポーツの機会を創出するにあたり、地域住民のニーズと合致させる方法を模索している。（世田谷区）
- ・福祉分野とスポーツ分野を連携することで地域課題の解決を目指している。（世田谷区）
- ・ジュニア向け講座（半期、通年等継続性のあるもの）が好評であるが、施設が不足しているため規模を拡大することが難しい状況にある。（世田谷区スポーツ振興財団）
- ・健康づくり事業の推進を検討しており、今後日体大とも連携していきたい。（青葉区）
- ・健常者と障害のある方が共にスポーツをする機会の創出を模索している。また、健常者にも

障害のある方にもスポーツを指導できる指導者を必要としている。（横浜市市民局）
・日体大の「人材バンク制度」を応用したいと考えている。（横浜市体育協会）
これを受けて、白旗アシスタントオフィサーより、今後も地域の要望や課題を確認した上で、所定の会議等で具体的に検討していく旨、補足説明があった。

（２）2019年度公開講座等について

萩議長から、2019年度公開講座について、配付資料（資料 5-1,5-2）に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、白旗アシスタントオフィサーより、今後は地域の要望を反映できるよう検討するとともに、地域のコミュニティづくりに寄与できる内容を検討していきたい旨、補足説明があった。

【おわりに】

次のとおり質問及び意見があった。

- ・冬季に地域の除雪作業の人員として学生を派遣してもらうことは可能か。また、部活動の指導員の需要が高く学生を派遣してもらうことは可能か。（青葉区）
→寮生等や各運動部と調整することは可能である。

最後に、石井アシスタントオフィサーより、本事業に関する継続的な協力についての依頼と次回会議の予定について連絡があり、閉会となった。

以上

【配付資料】

- 資料 1 平成 30 年度社会貢献事業報告書
- 資料 2 平成 30 年日本体育大学社会貢献推進機構自己点検・評価報告書
- 資料 3-1 平成 30 年度外部評価委員会（教育活動評価委員会）評価報告書
- 資料 3-2 平成 30 年度外部評価委員会（研究活動評価委員会）評価報告書
- 資料 3-3 平成 30 年度外部評価委員会（地域活動評価委員会）評価報告書
- 資料 3-4 平成 30 年度外部評価委員会（地域貢献推進事業評価委員会）評価報告書
- 資料 4 2019 年度事業方針及び事業計画
- 資料 5-1 2019 年度公開講座一覧
- 資料 5-2 2019 年度 SPO イベントカレンダー

- 参考資料 1 地域社会連携本部規則
- 参考資料 2 地域社会連携本部構成員一覧
- 参考資料 3 日本体育大学社会貢献推進機構及びスポーツプロモーション・オフィス構成メンバー
- 参考資料 4 日本体育大学社会貢献推進機構規程